

知名中学生 in 道の駅くるめ  
(沖永良部島物産展)

福岡県久留米市は、古くから農業が盛んで福岡県内でも最大の農業生産都市です。そんな久留米市にある「道の駅くるめ」は、豊富な農産物を取り扱う道の駅として平成20年にオープンしました。

その「道の駅くるめ」で、おきのえらぶ島観光協会が、昨年初めて開催した物産展が好評だったことから、今年も11月15日に開催することとなりました。  
今回の物産展の目玉は、



知名中学校2年生全員によるPR活動。修学旅行の日程に、「知名中学校がお届けする沖永良部島魅力発信プレゼン」と題して、沖永良部島のPR活動を取り入れ、生徒自ら考え企画した島の観光、特産品、郷土芸能などを紹介しました。

プレゼンは、「えらぶ百合の花」や「サイサイ節」など三味線の演奏から始まり、沖永良部島の観光PR映像の放映や、来場者へのえらぶゆりの切り花のプレゼント、そして勇壮なエイサーや儼かな御前風などを披露し、多くの来場者の注目を浴びていました。

また、会場には福岡県内の沖永良部出身者や知名中学校の卒業生、沖永良部島

にゆかりのある方も多く来場され、生徒が精一杯発表する姿に感無量の様子でした。近隣から来場した方からは、差し入れを頂いた方から、知名中学校に「島のことを紹介している姿に感動し、はるか遠い島ですが長生きして是非訪れたい」と電話もあつたそうです。

今回のPR活動では、事前に沖永良部高校生からエイサーの指導やジャガイモの無農薬栽培を学んだほか、PR映像制作のために島の名所の取材を重ねたそうです。自分たちの島のことを調べて発信する機会は少ないと思います。これから社会に出て行く生徒たちにとっても、自分の島の良いところ、気づきにつかっけになったのではないかと思います。

所長 元栄 吉治

New books

話題の本、入荷しました!

『小さな葬儀と墓じまい』

大野屋テレホンセンター/監修 自由国民社  
家族葬、一日葬、直葬といった小さな葬儀や墓じまいの実際を進め方と手続き・費用などを、事例やQ&Aとともに解説する。最新の葬儀・お墓事情がよくわかる。書き込み式エンディングノート付き。



『子どもと貧困』

朝日新聞取材班/著 朝日新聞出版  
想像を超える孤立と無力感の中で生きる子どもたち。貧困は本当に努力で解決できる「自己責任」なのか。6人に1人とされる子どもの貧困の実態に迫り、解決を探る。『朝日新聞』連載に加筆・修正・追加取材を行い書籍化。

問 町立図書館 電話(93)4356

<http://www3.town.china.lg.jp/index.html>

